



市長 からの 手紙

50 サンマリノ共和国

この国の名前を聞いたことがある人は少ないと思います。私も「サンマリノ共和国」という国があるということは、つい先日知りました。

6月10日に、港区六本木にある外務省飯倉公館で行われた、外務大臣が主催する全国の市長と各国大使館関係者、国会議員を招いてのレセプションに出席しました。このレセプションの狙いは、地方自治体と諸外国との交流促進を支援することで、私が出席するのは昨年に続き2回目です。昨年は川越市にもブース出展の声がかかり、観光協会とともに川越の特産品や観光の宣伝をしました。2020年のオリンピックのゴルフ競技が開催される予定になったことをきっかけに、より多くの外国の方に川越を訪れてもらおうと、私は諸外国の大使館関係者に川越の観光案内パンフレットを配りました。

今年は私1人の参加で、英語版の川越の観光地図を持って行き会場で配りました。会場で名

刺と観光地図を渡したときに相手の方から、「ヨーロッパ魅惑の小国 サンマリノ共和国」と記載された大使館作成の3つ折りのパンフレットをいただきました。外国大使館関係者から、本人の名刺以外に、国を紹介したり観光を宣伝したりするためのパンフレットの類いをいただいたのは、これが初めてでした。

「イタリア中部、アドリア海側に位置する小国サンマリノ。世界最古の共和国であり、平和と自由を重んじる軍隊を持たない国。公用語はイタリア語、民族はラテン系。面積は東京の世田谷区ほど(62km²)で、人口は約3万6千人。世界で5番目に小さい国」、「紀元301年の建国時から今日まで、自由と平和と平等を一貫して守ってきた」、「首都サンマリノの歴史地区とテイターノ山はユネスコの世界文化遺産に登録され、城壁の内側には中世の雰囲気のままの石畳の通り、建物、教会等、石造りの街並みが残っている」と、パンフレットには書かれています。

いただいたパンフレットを読んだら、サンマリノ共和国に行ってみたくなりました。

私の配ったパンフレット等を読んだ方にも、同じように「川越に行ってみよう」と感じてもらえたでしょうか。今後もDVDやパンフレットを海外で配るなどの活動を通じて川越の魅力を発信し、多くの外国の方に来ていただきたいと思っています。

川越市長 川合善明

環境にやさしい行動を目指して4
環境についても考える「市民環境調査」

環境政策課 224-5866

豊かな自然に恵まれた川越。季節によって表情を変える植物や多様な生き物は、見るものに新鮮な驚きや感動を与えてくれます。この美しい川越を守り、未来につなげていくためには、一人ひとりの環境に対する意識が必要不可欠です。しかし、忙しい日常の中で環境について考えることは、どれくらいあるでしょうか。

市では、環境に関する基礎データを収集することを目的に、市民の皆さんに参加していただく「市民環境調査」を平成8年度から実施しています。この調査に参加することをきっかけに、暮らしの中の環境に目を向けていただきたいと考えています。これまでに、湧水、樹木、昆虫、鳥類等、さまざまな事柄を調査テーマとしてきました。



まちなかの気温を測定中

昨年度のテーマは「気温等観測調査」。周辺環境の気温、湿度や暑さ指数を測定するとともに、私たちが感じる暑さ(体感温度)を把握することで、熱中症対策、生活空間の快適性の確保、環境情報の提供などに役立てようと実施しました。

実施後のアンケートでは、「気温が同じ値でも、風の強さによって体感温度は大きく異なると感じた」「日陰を作るものとして建物と樹木があるが、建物は風を遮ってしまう。やはり緑によって日陰を作るのがよい」などの意見をいただきました。市民環境調査は、環境について皆さんとともに考える貴重な機会。今後も実施する予定です。